

テレビを活用した広報のあり方

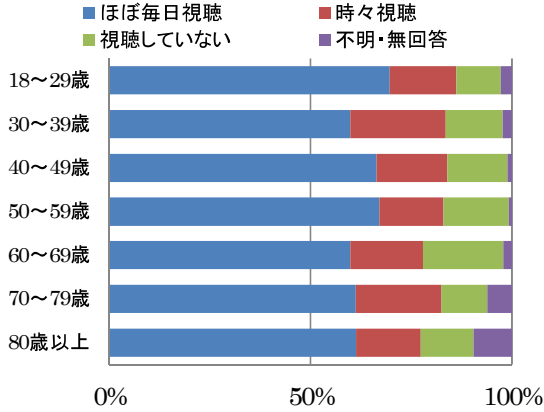
1. 現状の放送内容

放送局	放送日 時間帯	放映地域 視聴率	番組表		
				内容	
NST 新潟総合テレビ	毎週日曜, 8:25～ 5分	県内	前	番組名	新報道2001
				時間	7:30～8:25
				内容	フジテレビ報道番組
		H28:4.4% H29:4.4%	市	番組名	新潟市政ニュース
				時間	8:25～8:30
				内容	おでかけ情報(取材+テロップ)
後	時間	8:30～9:00			
	番組名	母ちゃんに会いたい			
	内容	バラエティ番組			
TeNY テレビ新潟 放送網	毎月第1・3・5 土曜, 11:40～ 5分	県内	前	番組名	NNNストレイトニュース
				時間	11:25～11:40
				内容	日本テレビ報道番組
		H28:7.1% H29:6.6%	市	番組名	いきいき新潟
				時間	11:40～11:45
				内容	保健や子育て関連等の情報(取材+テロップ)
後	番組名	TeNYサタデースペシャル			
	時間	11:45～12:00			
	内容	県内情報			
UX 新潟テレビ 21	毎週日曜, 17:55～ 5分	県内	前	番組名	ANNスーパーJチャンネル
				時間	17:30～18:00
				内容	テレビ朝日報道番組
		H28:7.9% H29:5.5%	市	番組名	知ットク!新潟
				時間	17:55～18:00
				内容	市政情報全般(テロップ)
後	番組名	相葉マナブ			
	時間	18:00～18:30			
	内容	ロケ主体のバラエティ			
BSN 新潟放送	年4回, 土曜日の おおむね10:00～ 12:00の間 15分×2回, 30分×2回	県内	前	番組名	情熱にいがた
				時間	10:18～10:30
				内容	県内企業インタビュー
		H28:2.6% H29:2.8%	市	番組名	さわやか新潟
				時間	5月10:30～10:45
				内容	レストランバスの旅
後	番組名	きらっとグルメ			
	時間	10:45～11:00			
	内容	県内グルメ			
NCV ニューメディア 新潟セン ター(地域コ ミュニティチャンネル)	毎日4:30～, 14:00～, 17:30 ～ほか 30分	県内のNC V加入者	前	番組名	パブテレ
				時間	13:30～14:00
				内容	新潟シティチャンネル
		なし	市	番組名	水の都新潟市
				時間	14:30～15:00
				内容	市政情報全般
後	番組名	ココだけNGT48			
	時間	15:00～15:30			
	内容	NGT48情報番組			

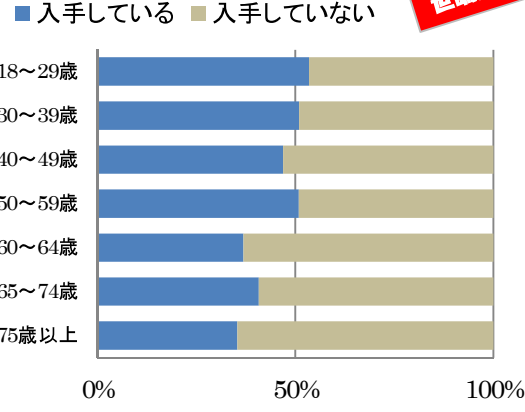
テレビを活用した広報のあり方

2. テレビの視聴者層について

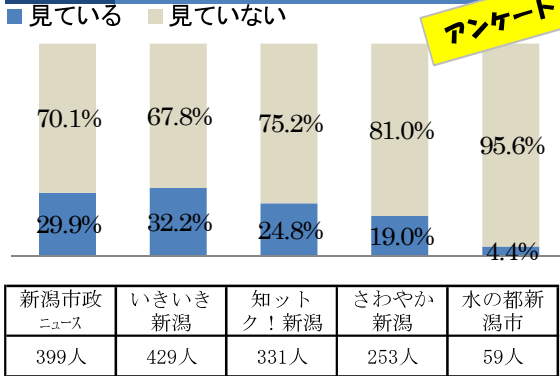
データ1 テレビの視聴頻度 アンケート



データ2 市政情報を広報テレビから入手しているか 世論調査



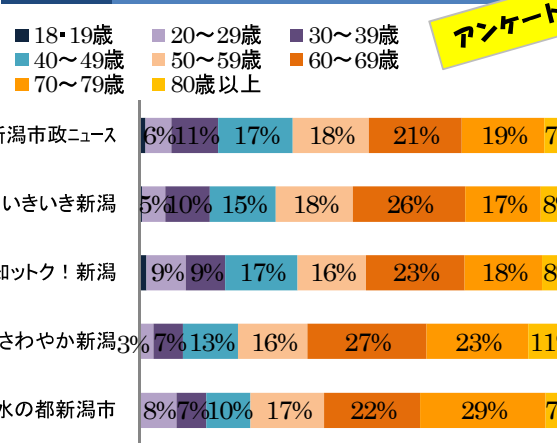
データ3 各番組を見ている人の割合 アンケート



新潟市政ニュース	いきいき新潟	知ック！新潟	さわやか新潟	水の都新潟市
399人	429人	331人	253人	59人

n = 1334人 (普段テレビを毎日・時々みている人)

データ4 各番組を見ている人の年齢割合 アンケート



3. 平成29年度試行状況と各局からの意見

番組名	H29試行状況	テレビ局の意見
新潟市政ニュース NST	毎週行っていた収録作業を月2回にし、効率を図った。	・試行による問題は発生しなかった。視聴者の定着の面から毎週放送は維持した方がいい。収録回数や放映時間で調整すると良い。スポット放送という手もあるが15秒程度と短い時間なので市報や広報テレビなど他の媒体を紹介するようなスポットになると思う。
いきいき新潟 TeNY	毎週から隔週放映に回数を減らし効率を図った。第1週目分を高年齢者と子育て世代にターゲットを絞った内容にした。TeNYオンデマンドで視聴できるようにした。	・オンデマンドで、当該番組が視聴できるようになり視聴数ものびている。 ・テロップは無くても良いのでは。静止画を、写真スライドショーのような形で流す方法に変更もできる。
知ック！新潟 UX	テロップの数を3本から2本にし放送時間を減らして効率を図った。QRコードを掲載するようにした。	・日曜の夕方はお出掛け情報より生活に役立つ情報を載せたほうがよい。QRコードは有効ではない。検索バーは有効。 ・テロップの読み原稿は少なめに、「話し言葉」にした方が分かりやすい。
さわやか新潟 BSN	毎回30分の放送であったものを、2回分15分放送に短くし、効率を図った。	・15分に短縮しても問題はない。説明が多くなりがちなので気を付けると良い。テロップなどで出しても読み切れないと思う。情報の出し過ぎはメリハリがなくなり飽きられる。
水の都新潟市 NCV	取材のコーナーを新たに設け、12回放送から31回に増やした。	・いくつかの写真をスライドショーのような形で流すのも有効だ。地域に密着した情報を流すのも良い。 ・イベント系の情報が多いが生活情報や注意喚起関連をもう少し流すとバランスが良いと思う。

テレビを活用した広報のあり方

4. 論点（意見交換いただきたい点）について

内容	現状	論点
ターゲットを絞った発信について	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・子育てを意識した番組を2番組（新潟市政ニュース・いきいき新潟）放送して、他はターゲットを絞っていない ・テレビ自体はどの年代も見ているが、広報テレビで若者向け情報の発信はない 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代でのターゲットを絞るべきか ・若者向けに発信するべきか
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にターゲットを絞って情報を発信している ・広報番組は県内全域に放送されている ・市民のみが対象の予防接種情報なども放送している 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のみがターゲットの情報発信で良いか ・県内向けに情報を発信する必要があるか
メディアの特性をふまえた情報発信について	<ul style="list-style-type: none"> ・テロップは、静止した写真・文字と音声で情報を伝えている。テロップを使った番組を1番組（知トク！新潟）と、テロップを含めた番組を2番組（新潟市政ニュース・いきいき新潟）、合計3番組で放送している 	<ul style="list-style-type: none"> ・テロップをより良くする方法は ・映像の活用した、より良い広報の方法は
	<ul style="list-style-type: none"> ・テロップで QRコード放送しwebに誘導する試みを行っているが、時間が短くQRコードを読み込めない ・オンデマンドを活用した番組を1番組（いきいき新潟）放送しており、オンデマンドでの視聴回数が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビを活用したクロスメディアで良い方法はあるか